

歩行中の交通死亡事故が夕方や夜間に多発しています!

歩行中の交通死亡事故の約半数が夕方から午後10時までの間に発生しています。



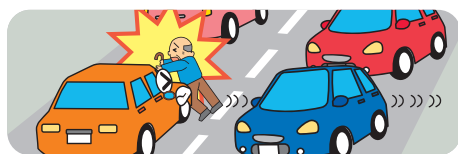
ドライバーが危険を察知して急ブレーキを踏んだ場合、止まるまで**時速40kmで約17m**、**時速60kmだと約33m**かかります。

※路面状況等により差があります。

ドライバーにとって夜間の歩行者はとても見えづらいものです。服の色や反射材の有無によってドライバーからの見え方や発見の早さは大きく変わります。なるべく早く自分の存在に気付いてもらうために、明るい服装や反射材等を身に付けましょう。

歩行中の交通死亡事故が多く発生している状況

車両の直前直後の横断



走行している車両等の**直前・直後横断**は大変危険です。絶対にやめましょう!

横断歩道以外での横断



道路の横断は危険が伴います。**横断歩道**や**信号**のある場所を渡りましょう。

飛び出し



飛び出しはドライバーが予測できず、大きな事故につながります。道路を横断する際は**左右を必ず確認**しましょう。

信号無視



信号無視は大変危険で重大な違反行為です。**歩行者も信号**は必ず守りましょう。

夕方・夜間の交通事故を防ぐため**明るい服装**や**反射材**等を身につけ、**ドライバー**に自分の存在を認識させましょう!

服の色等による見え方の違い

黒等の暗い服 約26m

明るく目立つ(白や黄色)服 約38m

反射材等をつけた場合 約100m

反射材着用促進キャッチフレーズ

キラリアップ★ちば

キ…危険を回避 ラ…ライトアップ
リ…リフレクターやLEDライト

反射材 つけて輝く その笑顔

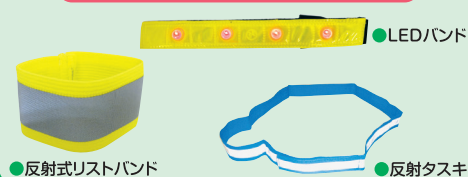
シールタイプのもの



吊り下げタイプのもの



バンドタイプのもの



自転車に付けるタイプのもの



反射材の入手方法

100円ショップやホームセンターで購入できます。安価なものから高性能なものまでいろいろと種類があります。